

2380 | テキスタイル基礎実習 II

2 単位（面接授業 2 単位）

鈴木純子准教授

授業の概要と目標

工芸は、自然から得た素材を主な材料として生活の用具を制作する事である。素材の開発や制作技術の工夫、生活様式の変わり様が工芸の変遷を形成するが、基本的には自然素材に根ざした技術と造形の洗練さにその本質を見ることができる。ここでは伝統的基礎技術を実習することで素材と造形、制作技術と用途など工芸制作の基本に触れ、さらには今日の生活とモノの在り方について考察する。

この科目では、テキスタイルの基礎技術である、フェルトの制作をとおして繊維の縮じゅうの研究を行う。ローケチ技法による表現をとおして、天平の三纈（さんけち）の歴史を学ぶ。

繊維の縮じゅうの特徴からのフェルト研究、天平の三纈（さんけち）のうちローケチ表現を各3日単位で行う。

なお、この科目は2013年度まで開設された「工芸Ⅳ」の素材別テキスタイルクラスと同一の内容である。

課題の概要

○面接授業課題

- ・防染技法の研究とローケチによる表現研究
- ・繊維の縮じゅうとフェルトによる表現研究

授業計画

[面接授業]

前半3日〈ローケチ染〉

1. 防染技法の説明とサンプル制作
フリードローイング、トリミングから制作
2. ローケチ染色
3. 作品制作、プレゼンテーション、講評

後半3日〈FELT〉

1. フリードローイング、トリミングから制作
2. 平面、立体フェルトで制作
3. 作品制作、プレゼンテーション、講評

面接授業の最終日に提出された作品やプレゼンテーションで評価し、授業態度等を加味する。

成績評価の方法

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

- ・2013年度まで開設の「工芸Ⅳ」テキスタイルクラスの受講者は異なる素材の基礎実習を受講することが望ましい。
- ・受講人数を制限する場合がある。
- ・工芸工業デザイン学科生活環境デザインコース進学希望者で、クラフトデザイン系テキスタイルクラスを選択する場合は、1・2年次において「テキスタイル基礎実習Ⅰ・Ⅱ」を履修していることが望ましい。
- ・工芸工業デザイン学科生活環境デザインコースへの進学希望者は、素材別基礎実習Ⅰ・Ⅱの科目の他、「工芸Ⅰ・Ⅱ」の履修を勧める。

参考資料：横溝健志 監修『工芸』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

田中秀穂 監修『テキスタイル 表現と技法』（武蔵野美術大学出版局 2007年）

教材等